**NPO法人食科協**

**ワークショップ（＝ＷＳ）の考え方と進行について**

食科協では、食品の安全に関して多方面からご意見や在り方に関するご質問等をいただいております。この度、WSを開催することとして、その中から４つのテーマを選びました。

このテーマについて、会員の皆様や、食の安全の現場で働く食品事業者の皆様、食品衛生監視員の皆様がそれぞれの立場や経験から議論するもので、開催の趣旨としては、必ずしも結論を求めるものではなく、多くの考え方に接することにより、日常業務へのアイディアやヒントを得る場とするとともに、今後における食の安全に関する参加者相互の意見交換や支援関係を作り出すことを目的と考えております。

**テーマの選定**

　これまで、食科協の理事・運営委員が毎月の定例の常任理事・運営委員合同会議において、日頃の話題等から選定したもので、ＷＳの開催案内に提案した４テーマである。

テーマ１　**HACCPを理解して付き合うために**

**～HACCPは難しくはないが、HACCPとHACCP制度化を**

**正しく理解する必要はあるはず～**

　　　　　　　　　コーディネーター　　立石食科協専務理事代行

テーマ２　**衛生上の危害の発生のおそれのあるアレルゲンを含む**

**食品の表示間違いと防止対策**

　　　　　　　　　コーディネーター　　藤平運営委員

テーマ３　**食中毒における不利益処分について**

　　　　　　　　　コーディネーター　　小暮常任理事

テーマ４　食科協の未来　　⇒**食の安全を守る活動**

～ＮＰＯ法人としての役割、会員の活動、どうあるべきか～

　　　　　　　　コーディネーター　　加地理事長

**参加者からの意見・質問**

　提案した４テーマに関して日頃から対応している関係役員がこれまで、接した質問や意見でより理解を深めるための議論をすることが必要と思われる内容や状況をPPスライドに纏め、DVDに収載し、参加者の皆様に送付たしますので、

内容をご確認の上、参加者の皆様から、質問・意見票に取り纏めご意見を送付頂きますようお願いいたします。

　ご意見をいただくましたものをPPスライドに取り纏め、会場に投影するとともにWEBによる配信を行います。

WSの場において（会場又はWEB方式により）ご説明頂き、それに対する意見交換をするものです。

　　質問意見票はNPO法人食科協事務所及び北村事務局員宛てに送付頂きますようお願いいたします。

　　　　　NPO法人食科協　　NPO2002-fhsinfo@ccfhs.or.jp

　　　　　北村事務局員　　　 t.kita34-91@jcom.zaq.ne.jp

ＷＳの進行

**質問・意見等のやり取りモデルを次ページに記載します。**

1. 全体の進行は総合コーディネーターが行い、
2. ４テーマに関する意見交換は、担当コーディネーターが行う
	1. コーディネーターから関係資料の説明　　3～5分
	2. 事務局から事前の質問意見について、スライドを示し、コーディネーターが当該　内容に発言をしてから、参加者の意見を求める。
	3. （イ）にかかわる会場からの意見を求め、討論に入る

　　　　　　　⇒　必要に応じ、意見提出者の意見を求める

* 1. Zoom方式参加者からのチャットについては、受付担当が質問意見フォーマットに記載し、順次意見交換に取り入れる。

　　　（オ）テーマごとの取りまとめは、総合コーディネーターが判断する。

　　３、総合討論については、総合コーディネーターが司会をし、各コーディネーターが参加する。

**質問・意見等のやり取りモデル**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | NPO法人食科協 | 参加者 | 備　考 |
| １２３４５６７８ | DVD送付事務局受領　　　　　　　⇐・テーマごとに整理・内容確認趣旨確認　　　　　　　　⇐質問・意見表一覧表作成WS投影用ＰＰスライド作成　テーマコーディネーター説明　質問意見のPPスライド投影　・当該者発言について　⇐・補足説明への参加者発言・チャットの内容をそのまま起票し、コーディネーターは発言準を指定する。　　　⇒　・チャットを採用　　　　⇒・補足説明への参加者発言5及び６の繰り返しコーディネーターまとめ | ⇒　受領・意見・質問票作成・送付⇒　確認事項説明⇒当該提案者の補足説明1min⇒会場参加者はサブホストPCから発言する。　・WEB参加者はチャットにより提案⇒チャットについて補足説明⇒参加者の発言 | 状況により事務局用務WS作業手順意見交換⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓⇓状況により総合討論へ |
| ９ | 総合コーディネーター　　次のテーマの紹介 |